

# 平成29年度 決算

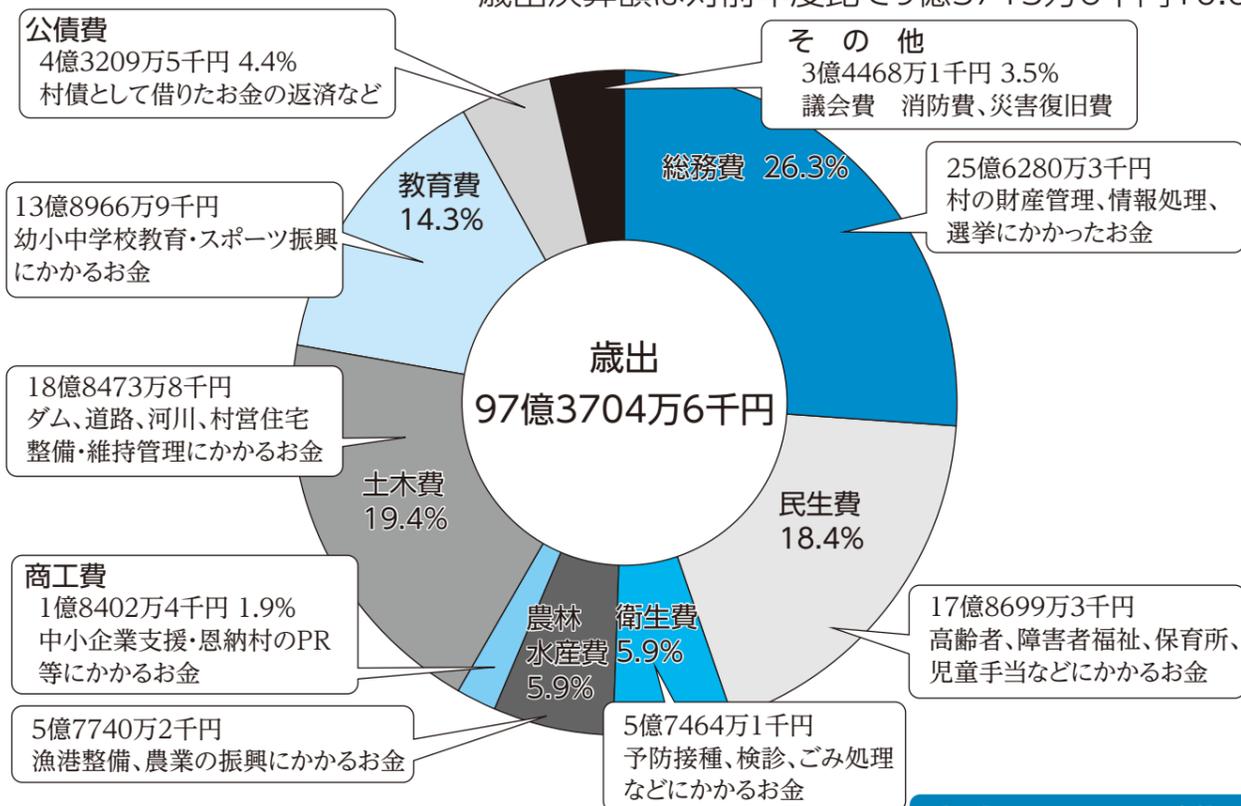
# 自主財源が56.1%

歳入 105億8096万8千円  
歳出 97億3704万6千円

# 認定

## 村税の増加が要因!

歳出決算額は対前年度比で9億3713万6千円10.6%の増



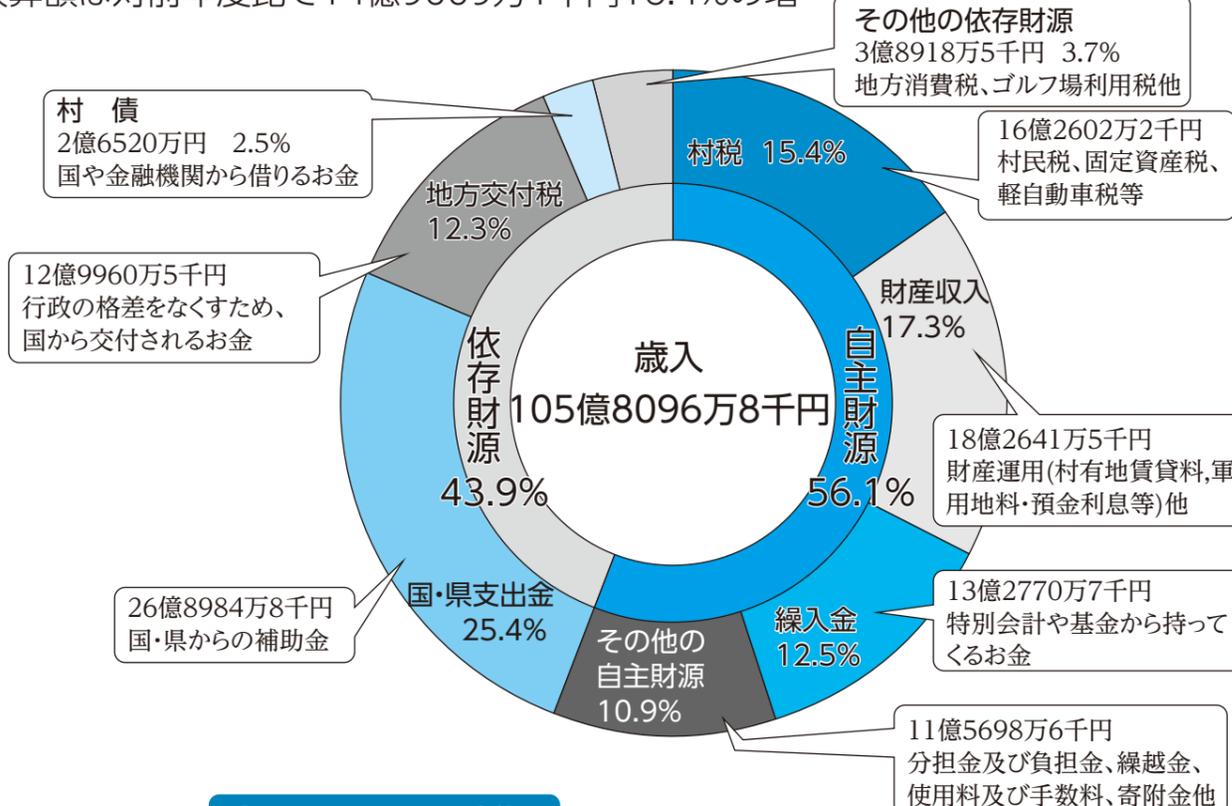
## 歳出に関する質疑

- 質疑** 財政管理委託料の不用額1845万円あると応援寄付金、商工会への業務委託料の不用額である。
- 答** サングの村宣言ロゴ、キャラクター製作委託料繰越額平成29年度中に商標申請事務の手数を支払い、平成30年度に登録料を支払うための繰越金である。
- 質疑** 老人福祉費委託料の不用額338万円食の自立支援事業委託料で、配食数が予測を下回った。
- 答** 農業振興費のシンカプロジェクトの成果説明から村内ホテル、おんなの駅なかくい市場等協力しなかったため、生産規模を1200坪から4200坪に拡大し安定生産を行う。長野県川上村と連携し5年目になるレタスを、学校給食で提供する食育の連携も行って、もっと広げていきたい。
- 質疑** 村営住宅の入居基準について
- 答** 定住促進を進めるため若年層をどう取り込むのか、調査をしながら入居基準について検討したい。
- 質疑** 実質収支に関する調査
- 答** 自主財源が56.1%でかなり増えている、要因は住民税、固定資産税の増加が主な要因である
- 質疑** 村税の増加はあるが、負担金や基金取り崩し、繰越金があるため自主財源が数字的に増えていると指摘。今後、新しい財源をどう考えるのか。
- 答** 新しい財源として観光の宿泊税で、勉強会やホテルとの意見交換を行っている。
- 質疑** 財産に関する調査
- 答** 備品台帳に無い他施設の備品台帳は50万円以下の備品は各課で台帳を管理している。各種ある基金、今後の運用は
- 質疑** 基金の目的に沿った形で運用し、必要がなくなった基金は運用方法を考えていきたい。

記事担当 大城保

## 負担金・基金取り崩しも増!!

歳入決算額は対前年度比で14億9009万1千円16.4%の増



## 歳入に関する質疑

- 質疑** 村税の収入未済額、状況及び必要因
- 答** 現年課税分664件1895万円、延滞繰越分1042件3507万円、不納欠損74件227万円(無財産や海外渡航36件)(連絡が取れず時効消滅38件)
- 質疑** 村税の収入未済額、今後の収納
- 答** 収入未済額は具体的には申し上げられない。徴収係は県税の方と連携し、月に1回は滞納処分を取り組みを行っている。
- 質疑** 貸付金元利収入の未済額
- 答** 奨学金の貸付金であり、償還期が来ないものも含めた現在の貸付残高である。
- 質疑** 奨学金の貸付金返済状況
- 答** 全く連絡の取れないケースが何件もあり、2件については本人死亡のため不納欠損となっております。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	19億6455万4千円	18億4503万8千円
後期高齢者医療	9684万円	9675万8千円
下水道事業	5億4241万円	5億3617万6千円

水道事業会計	収益的収入	収益的支出
水道事業	7億9124万円	6億9929万5千円

	資本的収入	資本的支出
	3100万円	2億3201万9千円

※不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てん